

丁寧ということ
色と布と語りあう日々

話し手：清水 繭子（染織家）

聞き手：鞍田 崇（総合地球環境学研究所上級研究員）

2010.4.14 wed 15:00-17:00

丁寧ということ 色と布と語りあう日々

「丁寧ということ―色と布と語りあう日々」というタイトルは、主催者の方が考えてくださいました。
私の仕事の中に、丁寧さを感じとってくださったのだとしたら、それは嬉しいことです。
しかし、丁寧な仕事ができているかどうかは、自分ではわかりません。そもそも「丁寧」ってどういうことだろう?と考えてしまいます。

草木で糸を染めて、織っていく日々の仕事の中で、植物の命の力強さや人の温かな思いに触れたとき、それらを素通りすることなく、ちゃんと感じて大切にしたいのです。

もしそのことを「丁寧」というのなら、私はやはり、丁寧に生きていきたい。

清水 繭子



写真：館員拓司

清水 繭子 SHIMIZU Mayuko 染織家

1972年東京生まれ。1996年大学卒業後、紬織重要無形文化財保持者 志村ふくみ氏に師事。志村ふくみ氏、洋子氏の京都の工房で染織を学ぶ。2000年独立、鎌倉に拠点を移す。植物染料による着物の制作を中心に、染色のワークショップなども行っている。

【個展】

『『切れ』清水繭子展』(佐々木倉庫／東京、2004)
「清水繭子展」(青山 八木／東京、2009)

【主なワークショップ】

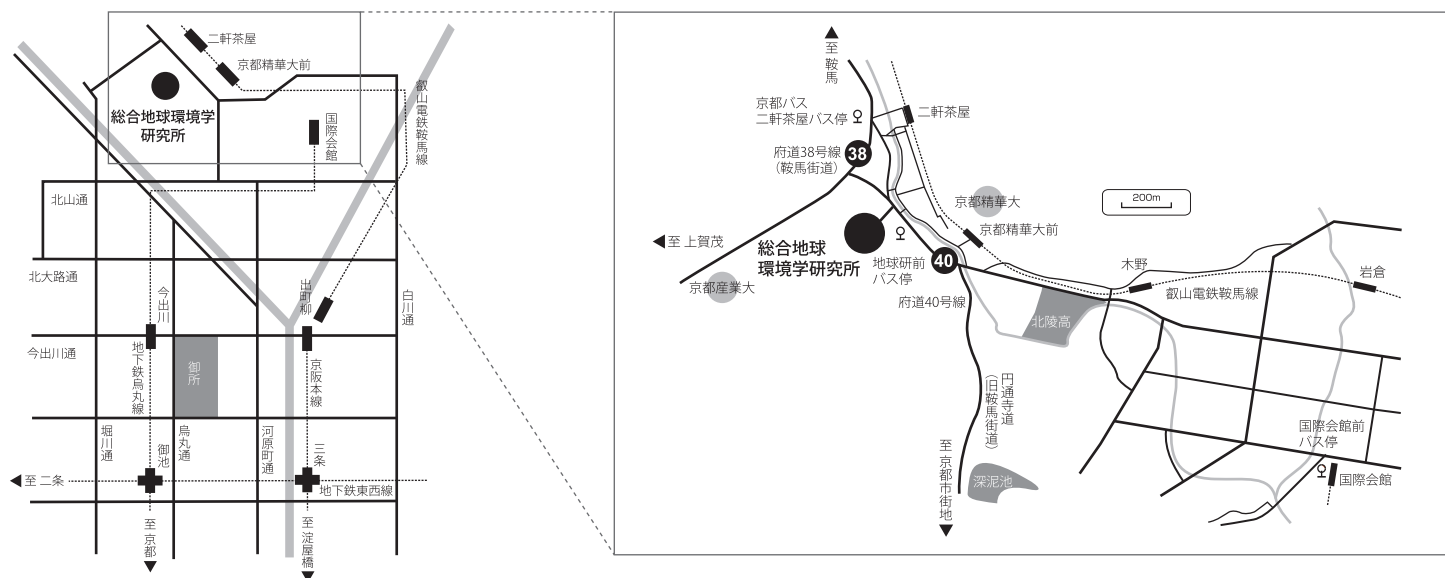
「草木で染めた和紙で、春を描こう」(NPO法人芸術家と子どもたち、2006)
「染色のはじまり―草木で染めるカラーパレット」(福島県立美術館、2006)
「桜の贈り物―草木で染める横浜の色」(横浜美術館、2008)
「草木で染める、草木を感じる」(アートフォーラムあざみ野、2009)

2010年4月14日(水)

15:00～17:00

会場：総合地球環境学研究所(地球研)・講演室

ACCESS MAP



■JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」より
京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館駅バスターミナル2番乗場から
京都バス40系統(京都産業大学ゆき)もしくは50系統(市原ゆき)にて(約10分)、「地球研前」下車スグ。

■京阪「出町柳駅」より
叡山電鉄鞍馬線に乗り換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。

※マイカーの利用はご遠慮ください。

聴講無料・申込不要

お問合せ

環境思想セミナー担当 鞍田崇(地球研・上級研究員)
075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp

主催：総合地球環境学研究所 文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」(里プロジェクト)

次回予告：Vol.30 2010.5.21 fri

「たとえば、とてもきれいなものに包みこまれること」(仮題)

講師：石上純也氏(建築家)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所(地球研)
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
http://www.chikyu.ac.jp